

高等部 総合サービス班 作業学習 学習指導案

日時 : 7月13日(水) 3・4校時
場所 : 高等部棟
生徒 : 高等部 1～3年生 7名
指導者 : 大山南視子(T1)、伊藤あゆ子(T2)
港 拓哉(T3)、畠山 智子(T4)

1 単元名 地域の清掃①～吉野交流ホームの清掃に向けて～

2 単元目標

- (1) 清掃道具の正しい使い方や手順が分かり、汚れが残らないように清掃する。(知・技)
- (2) 仕上がりの良し悪しを判断したり、効率よく清掃するために工夫したりする。(思・判・表)
- (3) 地域の清掃を通して、清掃の目的や楽しさ、喜びに気づき、さらに清掃技能を高めようとする。(学・人)

3 生徒と単元

(1) 生徒について

本学習グループは1年生1名、2年生3名、3年生3名の計7名で構成されている。うち1名は肢体不自由を併せ有しており、教師や友達の間い掛けに応じて視線を向けたり、手や口元を動かしたりしてコミュニケーションをとっている。口頭指示を理解して行動できる生徒や友達と一緒に行動しようとする生徒、教師の支援を受けて行動する生徒など様々であるが、何事にも意欲的に取り組むことができる。また初めての活動や慣れない環境下では、自分から行動することに時間を要するが、手順を理解することで自分から行動するようになってきた。

総合サービス班は今年度新設された作業班である。ほぼ全員が日常生活の指導で教室清掃等の経験があるが、業務用の清掃道具を用いて、作業学習として清掃に取り組むことは初めてである。これまでの学習を通して、単に手順通りに清掃するだけでなく、なぜこのような手順で取り組むか、仕上がりは良いか悪いかを考える機会を設けたことで、清掃に関する知識を正しく理解して清掃に取り組んできた。総合サービス班で決まった手順や仕上がりの良し悪しが明確である清掃に繰り返し取り組むことで、清掃技能が上がるとともに、生徒が自信をもって行動することができるのではないかと期待している。また清掃技能が上がることで、自分や友達の変容に気づき、さらなる技能向上や知識の理解を深めたり、お互いを認めたりすることにつながると思う。

(2) 単元について

総合サービス班は今年度新設された作業班で、主に清掃と受託作業に取り組んでいる。清掃は手順や仕上がりの基準が明確であり、繰り返し取り組むことが可能なため、より質の高さを求めて改善する経験を重ねたり、段階的に技能定着を図ったりすることができる。正しい手順で清掃しているか、仕上がりが良いかどうか、どのような種類の清掃方法を覚えたかを判断するための「技能検定」を定期的に設けることで、自分の清掃技能の段階を確認したり、技能向上の見通しをもって取り組んだりすることができる。また技能検定の結果を記した検定一覧を用意することで自分だけでなく、友達の花能向上の変容に気づき、一緒に清掃する際に、分担を決める要素となると考える。

本単元はこれまで学習した清掃の知識や技能を發揮する場、検証する場として地域の清掃に取り組む。地域の清掃に取り組むことで、成果と課題を見出し、自分の清掃技能の段階を確かめたり、変容や課題に気付いたりすることができると思う。自分の清掃技能の段階や定着したかどうか分かることで、他の教科や生活場面に生かすことができるだろう。

また地域の清掃では、限られた時間で行うことから、目標時間を設けることで「効率」について考える機会となる。効率よく清掃するために、現段階で自分一人だけでは難しいことを理解するとともに、友達と分担して取り組まなければならないことの必要性を感じ、協働の大切さを知ることができる。一緒に清掃する中で自分のできることを最大限に生かし、担当に責任をもって取り組むことができると思う。

さらに地域の清掃をし、地域の方から感謝され、評価をいただく経験を積むことで、清掃に取り組んだことに達成感や成就感を味わうことができる。感謝される経験をすることで、清掃技能に自信をもちたり、さらに技能向上しようとする意欲につながったりすると考え、本単元を設定した。

(3) 指導に当たって

〈学習活動〉

- ・清掃の正しい手順や知識について理解を深めることができるよう、手順と理由を合わせて提示したり、その場で考える機会を設けたりする。(主)
- ・全員の清掃技能が定着・向上するよう、事後ミーティングを設け、その日の清掃で良かったことや気付いた点について意見を出し合う機会を設定する。(主・対)
- ・清掃の目的や楽しさ、喜びに気付くことができるよう、地域の方から直接評価をしていただく場面を設ける。(対、深)

〈場の設定、教材・教具〉

- ・見通しをもって清掃に取り組んだり、仕上がりを判断したりできるように、正しい手順や気を付ける点、仕上がりの良し悪しについて視覚的に確認できるよう iPad を活用する。(主)
- ・協働して分担して清掃するために、自分と友達の清掃スキルの段階が分かるよう、技能検定結果の一覧を掲示する。(対)
- ・清掃の仕上がりを判断できるように、良い例と悪い例を iPad に記録して提示する。(対)

〈教師の働きかけ〉

- ・正しい手順や道具の使い方が分かるよう、手順表を示したり、示範したりする。(主)
- ・正しい手順や仕上がりに気付くことができるよう、評価基準を共有し、言葉の掛け方や支援方法に留意する。(主)
- ・事前ミーティングの分担確認をする際に、自分の担当が得意なことであることに気付き、やりがいや責任をもって意欲的に取り組むことができるよう、検定一覧を参考にしながら分担した理由を伝えるよう言葉を掛ける。(対)
- ・事後ミーティングで効率よく清掃できたかについて、自分や友達の言動を思い出したり、気付いたりできるよう iPad で写真や動画の記録をする。(主)

4 指導計画 (総時間数 38時間)

学習活動	ねらい	時数	関連する指導の形態
○事前学習 ・地域清掃について ・清掃方法について ・清掃手順の確認	・地域の清掃についての日時や地域に合った清掃方法、正しい手順について知る。(知・技) ・地域の清掃に向けて、清掃の目的や方法が分かり、自分の清掃技能を確認したり、技能検定に向けて練習したりする。(学・人)	14時間	国語 数学 職業 総合
○校内清掃 ・教室清掃について ・グループ清掃について	・正しい手順で取り組むことや友達と分担することのよさを知る。(知・技) ・ゴミや汚れが残っていないか、仕上がりの良し悪しを判断したり、友達と見合ったりする。(思・判・表) ・自分や友達の清掃技能が分かり、効率よく清掃するために工夫する。(思・判・表)	18時間 (本時13・14/ 18時間)	国語 数学 職業 総合 自立活動
○技能検定 (週1回実施)	・道具の正しい使い方や清掃の手順が分かり、実践する。(知・技) ・自分の清掃技能の段階を知ったり、今後取り組む清掃段階に見通しをもったりする。(学・人)		
○吉野交流ホーム清掃 ・交流ホーム清掃 ・事後学習	・地域の清掃の手順が分かり、ゴミや汚れが残らないように清掃する。(知・技) ・自分や友達の清掃技能の段階を知る。(学・人)	6時間	国語 数学 職業 総合

5 本時の計画（総時数 27・28 / 38）

（1）全体の目標

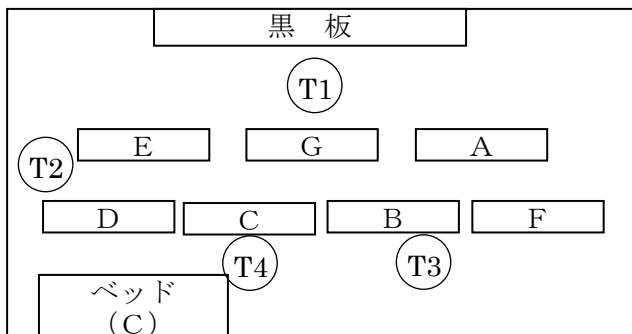
- ・正しい清掃道具の使い方や正しい手順が分かり、ゴミや汚れが残らないように、効率よく清掃する。（知・技）（思・判・表）

（2）個別の目標

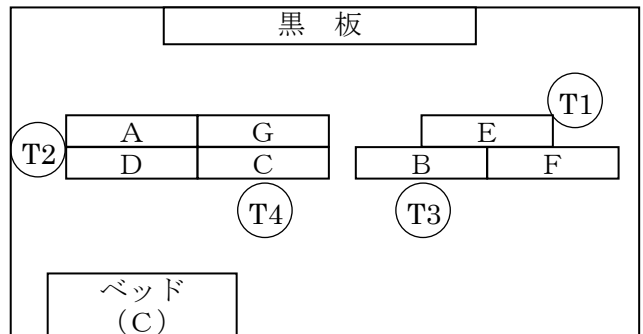
氏名	生徒の実態と学習の様子	個別の指導計画の目標（前期）	単元の目標	本時の目標
A	ビルクリーニングの経験があり、正しく道具を使うことができる。正しい手順で取り組むが、うまくいかなかったり時間に追われ焦ったりすると間違えることがある。また友達の様子を気にして手伝ったり一緒に取り組んだりすることができるが、気にしすぎて自分のことを後回しにしたり、一人で終わらせようとしたりする。	<ul style="list-style-type: none"> ・作業内容や手順を覚え、分担して取り組む周りの様子を見ながら声を掛けたり、自分ができることを判断したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループのリーダーとして、友達の進み具合を確認しながら、自分の担当する箇所を正しい手順で清掃する。（知・技）（思・判・表） 	<ul style="list-style-type: none"> ・正しい手順でゴミや汚れが残らないように床清掃する。（知・技） ・友達の報告を受けて、次の清掃を依頼する。（思・判・表）
B	得意な清掃に関しては自分から手を伸ばしたり、目標回数を決めて集中して取り組んだりする。疲れたり、周囲が気になったりすると、その場から離れたり、使っている道具をその場に置いたり戻そうとしたりする。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の席から離れずに、一定時間の作業を行う。 ・作業内容を理解して活動し、作業終了の報告を自分から行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・フロアワイパーの使い方や清掃の目標回数、目標時間が分かり、時間いっぱい清掃する。（知・技） 	<ul style="list-style-type: none"> ・フロアワイパーで清掃する場所や回数が分かり、清掃場所から離れずに取り組む。（知・技）
C	教師と一緒に清掃や受託作業に取り組んでいる。友達や教師の言葉掛けに応じることができるが、体調によっては休憩をとることがある。補助具を工夫することで、清掃の道具から手を離さずに休憩を挟みながら、時間いっぱい取り組むようになってきた。	<ul style="list-style-type: none"> ・フロアワイパーの柄に両手を添えて、床の清掃をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師や友達の言葉掛けに視線や手指・口の動きで答えながら、時間いっぱい清掃する。（知・技） 	<ul style="list-style-type: none"> ・フロアワイパーで清掃する回数が分かり、フロアワイパーの柄から手を離さずに取り組む。（知・技）
D	自分で道具を選んで準備をしたり、教師の言葉掛けを聞いて正しく道具を使ったりするようになってきた。窓清掃ではスクイジーを「上から」、床清掃では自在ぼうきを「スートン」と、動かし方を擬音語で言葉にしながらか清掃に取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃に必要な道具の名前を覚え、手順通りに清掃する。 ・作業に必要な報告の仕方、依頼の仕方を覚える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・窓清掃と机拭きの道具の正しい動かし方が分かり、正しい手順で清掃する。（知・技） 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で窓清掃の道具を準備し、正しい動かし方で清掃する。（知・技）
E	ビルクリーニングの経験があるものの場面が変わると忘れてしまったり、周囲へ気配りしすぎて手順を間違ったりする。長時間体を動かすことが難しく、途中で座ったり、目を閉じたりすることがあるが、清掃には意欲的に取り組む。グループ全体の清掃手順やチェックリストを用意すること	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃や受託作業の一連の動きを覚え、時間いっぱい取り組む。 ・作業の手順表や周囲の状況を見て、作業に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・仕上がりの良し悪しが分かり、正しい手順で清掃する。（知・技） ・効率よく清掃を進めるために、友達の清掃の進み具合を確認する。（思・判・表） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミや汚れが残らないよう気を付けながら、正しい手順で床清掃する。（知・技） ・友達の報告を受け、次の清掃を依頼する。（思・判・表）

	で、友達に次の清掃を依頼しながら、自分も正しい手順で清掃できるようになってきた。			
F	やりたいことと自分の得意なことが合わず、正しい手順で取り組むことが難しいことがある。教師が正しい手順で「上から」「水滴は？」など具体的な言葉掛けをすることで、正しい手順で清掃したり、仕上げを確認したりするようになってきた。	<ul style="list-style-type: none"> 作業に必要な道具の準備と片付けを決められた時間内に行う。 作業に必要な挨拶、返事、報告の仕方を覚えて実践する。 	<ul style="list-style-type: none"> 窓清掃と机拭きの道具や手順を覚えて、清掃する。(知・技) 教師や友達と一緒に仕上げを判断する。(思・判・表) 	<ul style="list-style-type: none"> 正しい手順で窓清掃と机拭きをし、教師や友達と仕上がりを確認する。(思・判・表)
G	経験が少ないが3～4つの工程であれば正しい手順で清掃できる。気を付けるポイントや正しい道具の使い方は言葉掛けや手本があれば直すことができる。次の行動に移ることが難しいため「～しましたか?」「次は?」と具体的に発問することで、次の行動に移したり、自分から報告したりするようになってきた。	<ul style="list-style-type: none"> 道具の使い方や作業手順、道具の準備・片付けの仕方を覚え、丁寧に時間いっぱい作業する。 挨拶、返事、報告をする必要性を知り、報告の内容を覚える。 	<ul style="list-style-type: none"> 窓清掃と机拭きの手順を覚えて清掃し、仕上がりを正しく判断する。(思・判・表) 清掃→点検→報告の一連の流れが分かり、担当箇所の清掃を進める。(知・技) 	<ul style="list-style-type: none"> 清掃から点検、報告の一連の流れが分かり、窓清掃や机拭きに進んで取り組む。(知・技)

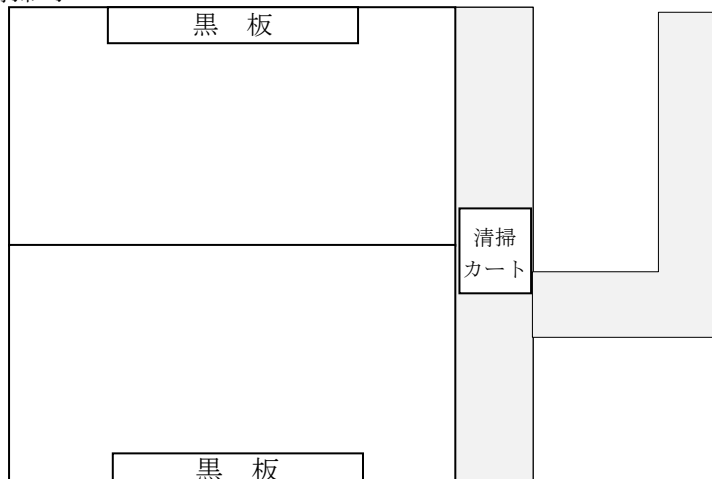
(3) 配置図 <高等部1、3年教室>
 日誌記入～はじめの会、おわりの会



事前ミーティング・事後ミーティング



清掃時



※高等部1、3年教室を
 2つのグループに分かれて清掃する。
 廊下清掃も行うため、机や椅子等の物は
 廊下には移動せずに清掃する。

※清掃カートに2グループ分の清掃道具を
 用意し、移動させずに使用する。

(4) 学習過程

時間(分)	学 習 活 動	教師の働きかけ、手立て	準備物等
10:20 (10)	1 日誌を記入する。 ・本時の目標 ・清掃箇所	・清掃内容を記入できるように、黒板にめあてや清掃場所、グループ編成を整理して掲示する。	日誌 掲示カード 写真カード
10:30 (10)	2 はじめの会をする。 (進行:A) ・挨拶 ・出席確認 ・清掃内容の確認 ・挨拶確認	・姿勢を正して挨拶や返事ができるよう、言葉を掛けたり、手本を示したりする。 ・清掃内容やめあてについて具体的な言葉を生徒から引き出せるように、発問を工夫したり、これまでの学習の掲示物等に注目させたりする。	点検一覧 道具表 手順表 挨拶確認表
		正しい手順で、きれいに、効率よく清掃する。	
10:40 (5)	3 グループで事前ミーティングをする。 ・グループ内で分担や気を付けるポイントを確認する。	・自分や友達の得意なことを生かした分担になっているか、検定一覧を参考にしよう言葉を掛けたり、注目させたりする。 ・B、C が自分の担当する清掃が分かるように、写真を提示する。(T3、T4)	iPad 検定一覧
10:45 (50)	4 グループに分かれて教室清掃・廊下清掃をする。 ・道具の準備をする。 ・iPad に記録する。 ・担当箇所を清掃する。 ・教室を復元する。 ・点検する。 ・清掃完了を教師に報告する。	・めあてである「効率よく」を意識して清掃できるよう目標時刻を提示し、タイマーを設置したり、担当する清掃が終わったら次の清掃に移ることができるようリーダーへの報告を徹底することを確認したりする。 ・使う清掃道具が分かるように、手順表と一緒に使用道具を提示する。 ・清掃後に正しく復元できるように、iPad に記録するように言葉を掛けたり、一緒に操作したりする。(T1、T2) ・自分から清掃に取り組むことができるよう、TT 間で言葉を掛けるタイミングや言葉掛けの内容を整理して共通理解しておく。 ・正しい手順や仕上がりを確認することができるよう、iPad 上で手順表を提示する。 ・グループ内で遅れている友達がいなかったか、効率よく作業に取り組んでいるか確認できるように、報告・連絡・相談をするよう言葉を掛けたり、一緒に取り組んだりする。	タイマー 清掃カート 清掃道具 iPad マスキングテープ
11:35 (10)	5 道具の片付けをする。	・正しく道具の点検や片付けができるよう、テープや写真を掲示しておく。	道具点検表
11:45 (10)	6 グループで事後ミーティングをする。 ・グループでめあてに沿って振り返りをする。 ・グループごとに話し合ったことを報告する。 ・全体で良かったことや改善点を共有する。 ・日誌に記入する。	・自分や友達の良かったことや課題に気付いたりすることができるよう、具体的に発問したり、実際の動画を見せたりする。 ・「きれいに」「効率よく」のテーマに沿った報告ができるよう、ワークシートを使って、具体的な発問をしながら報告内容を1～2点に絞る。	ワークシート 付箋 日誌
11:55 (5)	7 おわりの会 ・まとめ、次時の確認 ・挨拶	・お互いの報告を聞いて、相違に気付くことができるよう、キーワードを板書する。 ・次時に生かせる内容に注目できるように、板書を工夫する。	

(5) 評価

- 〈生徒〉・ゴミや汚れが残っていないか仕上がり判断したり、友達と見合ったりして清掃することができたか。
・担当する清掃箇所や終わったらすぐに報告をしたり、次の清掃を依頼したりしてグループで効率よく清掃することができたか。
- 〈教師〉・担当する清掃箇所や清掃全体を通して、仕上がりを正しく判断するための教材・教具の工夫、場面の設定、教師の働きかけは適切であったか。
・グループで効率よく清掃するための具体的な行動を理解し、実践するための場面の設定、教師の働きかけは適切であったか。

(6) 個別の目標（本時）に関わる支援

児童生徒名	目標を達成するための教師の働き掛け、手立て	支援を行う学習活動
A	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミが残っていないか、仕上がりの良し悪しを正しく判断できるように、iPadで確認できるようにしたり、点検のチェックリストを用意したりする。 ・友達に次の清掃を依頼することができるように、清掃の手順やチェックリストを用意する。 	4 清掃（5）点検 4 清掃
B	<ul style="list-style-type: none"> ・見通しをもって目標回数清掃ができるように、1回ごとにマグネットを貼る。 	4 清掃
C	<ul style="list-style-type: none"> ・見通しをもって目標回数清掃ができるように、1回ごとにマグネットやシールを貼る。 ・道具から手を離さずに清掃ができるように、つかみやすい柄や好んでいる触感のテープを用意する。また両手でつかんでいる際は良い状態であることを伝える。 	4 清掃 4 清掃
D	<ul style="list-style-type: none"> ・正しく道具を選んだり、動かしたりすることができるように、見本となる写真を用意したり、「上から」「窓枠は？」など動作に関するキーワードを伝えたりする。 	4 清掃
E	<ul style="list-style-type: none"> ・正しい手順で清掃できるように、手順表や気を付けるポイントをiPadで確認する。 ・友達に次の清掃を依頼することができるように、清掃の手順やチェックリストを用意する。 	4 清掃 4 清掃
F	<ul style="list-style-type: none"> ・正しい手順で清掃ができるように、手順表を用意したり、分かりやすい短い言葉で伝えたりする。 ・友達と仕上がりを確認できるように、チェックリストを用いて、「縁に水が残っていないか」と見るポイントを絞って、一緒に指さしをしながら確認する。 	4 清掃 4 清掃（5）点検
G	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃から点検、報告までの一連の流れが分かるよう、点検箇所や報告まで明記した手順表を用意したり、「点検をしたら、〇〇さんに報告しよう」と言葉を掛けたりする。 	4 清掃